

新市まちづくり計画策定等にかかる住民意見交換会結果報告書

平成15年10月9日（単位：人）

市町村名	白 山 町	芸 濃 町	香良洲町	美 杉 村	河 芸 町
月日	9月 8日(月)	9月 9日(火)	9月10日(水)	9月12日(金)	9月 24日(水)
開催会場	白山町立町民会館 大会議室	芸濃町総合文化セ ンター 町民ホール	香良洲町サンデルタ 香良洲すこやかルーム	美杉村総合開発セ ンター 大集会室	河芸町役場 防災研修室
市町村 出席者	町長 岡本 知順 助役 植村 仁 収入役 中尾 憲司 教育長 坂下 正信 合併特別委員長 天花寺 勇	町長 横山 雅宏 収入役 長尾 光秀 合併特別委員長 柴田 春生	町長 鈴木 一司 助役 土性 広治 合併特別委員長 藤川 啓志	村長 結城 敏 助役 吉田 泰久 収入役 篠原 利昭 教育長 齋藤 昭久 議長 今井 幹雄	町長 長谷川 政春 収入役 杉野 哲生 合併特別委員長 水谷 保
参加者数 男性	43	54	42	67	82
参加者数 女性	11	24	14	46	21
参加者数 合計	54	78	56	113	103

市町村名	安 濃 町	久 居 市	津 市	一 志 町	美 里 村
月日	9月26日(金)	9月29日(月)	9月30日(火)	10月 1日(水)	10月 6日(月)
開催会場	安濃町サンヒルズ 安濃 大会議室	久居市役所南庁舎 3階 会議室	津市役所 8階大会議室	一志町中央公民館 多目的ホール	美里村社会福祉セ ンター ホール
市町村 出席者	町長 海野 武司	市長 池田 幸一 助役 野口 勝美 収入役 前田 美和 教育長 佐々木 典夫	市長 近藤 康雄 助役 高橋 広幸 収入役 河合 安雄	町長 前山 禮三 助役 中野 榮一 議長 豊田 千春	合併特別委員長 永田 正 総務課長 中森 長郎
参加者数 男性	58	163	92	95	29
参加者数 女性	4	9	23	23	4
参加者数 合計	62	172	115	118	33

参加者数	男 性	女 性	合 計
	725人	179人	904人
男女の比率	80.2%	19.8%	100%

新まちづくり計画策定等にかかる住民意見交換会会議録概要

開催日	平成15年9月8日(月)
場所	白山町立町民会館
町側出席者	町長、助役、収入役、教育長、合併特別委員会委員長
参加者数	男性 43人 女性 11人
発言者	意見要旨
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・白山町は、中山間地域であるが、なお過疎化の不安がある。過疎対策に対する考えはあるのか。 ・対等合併と聞いているが、吸収合併の懸念がある。 事務事業の調整にあたっては、どういう協議がなされているのか。 ・事務事業のすり合わせの中で、合併後3年程度は据え置きという項目が数多く見られる。 出来るだけ多くの項目が解決されるよう調整をお願いしておきたい。 ・協議会は約20回開催とあるが、既に9回開催されており、後10回程度の開催で合併の協定を締結するとのことであるが、間に合うのか心配である。
男性	<p>計画原案の表現が難しいように思う。行政と住民との協働を進めていくのならば、もっと分かりやすい表現となるよう工夫して欲しい。</p> <p>この内容では、まちづくりのイメージが浮かんでこない。住民の側に立ってまとめていていただきたい。</p> <p>例えば、P32の人権施策の推進の記述、1つの文章で5行と長すぎる。内容を本当に理解しているのか不安に感じる。</p> <p>この文章の中身は、 人権施策を表す場合の分野、啓発の内容、関係機関との連携、この3つの段落から構成されているということではないのか。</p> <p>新聞記事の書き方を参考にさせていただいてはいかがか。また、昨年作成されたまちづくり基本構想の文章表現は分かりやすく、読みやすかった。</p>
男性	<p>P30の人権施策の推進の内容では、「関係機関と連携し、相談支援体制・・・」とある。P32の地域福祉では、「NPO、ボランティア等と連携し・・・」とあるが、人権施策の部分では公的機関との連携に限定し、市民団体等との連携は考えられていないのか。</p>
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーンに関連して、白山町は里山山間レクリエーションゾーンとなるが、居住環境共生ゾーンに住民が集中するような感じがする。 ・将来像が抽象的で、どういう意味なのか、分かりやすく説明していただきたい。 ・協議会における平成16年の活動内容は、できるだけ早く示して欲しい。即合併というよりは、徐々に調整していただいたほうが、住民の混乱も少ないのではないかと思う。

男性	この計画原案は、何年先を見越したものなのか。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合併協議会の協議状況の説明の中で、奨学金に関する説明があったが、日本育英会の奨学金も2年後には廃止されると聴いている。 ・ 事務事業の調整内容は、この計画の中でどのように取り扱われているのか。
男性	<p>奨学金は、一志郡4町で将来的には前向きに検討していくという考えであったかと思うが、合併時には廃止という調整方針になっている。</p> <p>町民にとっては不安感を与える内容である。</p>
男性	<p>奨学金制度は、合併時には廃止ということで調整されたとのことであるが、新市になってどのように対応していくつもりなのか。</p> <p>県民局の人たちも協議会に入って協議しているはずである。日本育英会の奨学金の考えは、県の担当者も分かっているはずである。県当局には、そういった情報を10市町村なり、事務局に提供していただきたい。その上で、議論していただきたい。</p>
男性	<p>我々の市民の連帯の気持ち、手をつなぐ気持ちを大事にしていきたい。10の市町村を上から縛るのではなく、手をつなげるような施策を検討していただきたい。</p> <p>奨学金制度、農業振興、商業振興など10年先、20年先を見据えた連帯の証しとなるような、新市のあり方、人々の手と心をつなぐ施策を検討していただきたい。</p>

新まちづくり計画策定等にかかる住民意見交換会会議録概要

開催日	平成15年9月9日(火)
場所	芸濃町総合文化センター町民ホール
町側出席者	町長、収入役、合併特別委員会委員長
参加者数	男性 54人 女性 24人
発言者	意見要旨
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり計画原案は、津市とか久居市とか大都市中心に考えてられているようで不満である。 芸濃町の現実を将来に向かってどのようにしていくのか検討していただきたい。 ・ゾーン図に関連して、芸濃町は亀山市とのつながりもある。 芸濃町と亀山市との交通手段を検討していただきたい。 ・災害対策の問題を検討していただきたい。東海南海大地震の発生も予想される中、災害を未然に防ぐという意味においても通信手段をどのようにしていくのか検討していただきたい。 ・戸籍住民関係の証明書などは郵便局の窓口でも交付されるような対応を郵政省とも協議して検討していただきたい。 ・合併市町村内には、10や20ものスポーツ施設がある。 野球場は、安濃町の野球場を拠点にするなど有効に活用していただきたい。 雨が降っても利用できるインドアテニスのコートを整備していただきたい。 ・このまちづくり計画については、財政の問題が根本にある。無駄だと思われる施設、必要でない施設は現時点においては建設すべきではないとはっきり言うべきである。 例えば、芸濃町の役場庁舎である。 久居市議会は、風体験資料館の建設にストップをかけたと聞いている。将来の財政負担にならないよう、意見を申し上げておくことは非常に大事なことである。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自治の考え方はどのようになっているのか。 ・事務事業調整の報告のなかで、開設基準は9人とのことだが、学年単位か、それとも学級単位なのか。 ・芸濃町の新庁舎には温泉を引いてくることになっているが、合併後も継続していただけることになっているのか。

<p>男性</p>	<p>合併するまでは、現在の芸濃町の財政で行政を運営している。</p> <p>合併後、自分たちのまちがどういう位置付けになるのか心配である。</p> <p>新市になって芸濃町が寂れていかないか心配である。</p> <p>10市町村の財政の状況はそれぞれ異なる。</p> <p>例えば、負債の多い市町村は、合併後の事業に影響が出ることになるのかという心配がある一方、負債が多くても合併後には事業に影響を及ぼさないのか。全く影響を及ぼさないというのであれば、今のうちに、事業をしておいて借金を新市に引き継げばという考えも出てくるだろうし、逆に駆け込み建設といわれる事業などにも歯止めがかかるのではないかと。</p> <p>芸濃町には庁舎の問題がある。町は、今のうちにしておかないと合併後はできないとあって、庁舎建設を進めている一方、合併後も芸濃町の事業はちゃんとやりますと言っている。そんな約束は、果たして現時点で言えるのか。合併後の現市町村長の身分は、どういう扱いになるのか。</p> <p>現時点で合併後のことがいえないのであれば、町長は、説明会などで必ずやりますなどということは言わないでいただきたいし、事務局にもそういう指導をお願いしておきたい。</p>
<p>男性</p>	<p>豊里村が津市と合併したが、旧豊里村の区域には下水道も整備されていない。そんな中で、芸濃町は新市のなかで中心部から外れたところに位置することになる。大小様々な10市町村が合併する。役場の職員も合併は初めての体験である。</p> <p>合併後も職員がやる気をなくさないような施策を検討していただきたい。</p>
<p>男性</p>	<p>家庭ごみの収集に関する調整方針で、芸濃町の粗大ごみの有料化は、どのような扱いになるのか。</p>

新市まちづくり計画策定等にかかる住民意見交換会会議録概要

開催日	平成15年9月10日(水)
場所	サンデルタ香良洲
町側出席者	町長、助役、合併特別委員会委員長
参加者数	男性 42人 女性 14人
発言者	意見要旨
男性	ゾーン図で、香良洲のきれいな海岸、松並木が残っている。今は、小さい町なので管理をしてくれているが、新市では香良洲町は新市の南の端となり、これからも継続して管理されるという保障はあるのか。
男性	香良洲町のメインの道路として、香良洲大橋からの県道があるが、その道路沿いの桜並木について、合併後も引き続き管理されるのか。
男性	合併協定書の調印が来年の1月から2月を予定しているとのことであるが、スケジュール的に難しいとの話を聞いているが、間に合うのか。
男性	対等合併と新設合併の違い、また吸収合併、対等合併の具体的な違いを教えてください。
男性	合併に伴いそれぞれの市町村の職員は余ってくると思うが、職員の取扱いはどのようになるのか。 合併の形式によって、職員の取扱いに差異はあるのか。
男性	新市になった場合、自治会の単位はどうなっていくのか。小学校区を1つとすると津市は22の小学校区があると聞くと、香良洲は1つとなり、香良洲代表で自治会長1人となるのか。今、香良洲町には10の区という組織があり、それぞれの区では伝統行事が実施されてきているが、合併により自治会、区の組織がどのようになるのか不安である。また、合併後の住所の表記はどうなるのか。
男性	合併後の入札参加資格はどのように調整されているのか。

新市まちづくり計画策定等にかかる住民意見交換会会議録

開催日	平成15年9月12日(金)
場所	美杉村総合開発センター2階大会議室
村側出席者	村長、助役、収入役、議長
参加者数	男性 67人 女性 46人
発言者	意見要旨
男性	・財政状況が厳しいといいながら、財政の見通しが示されていない。具体的な事業よりも財政状況を示していただきたい。
男性	・ゾーン図において、県道久居美杉線を広域連携軸に位置づけていただきたい。 ・連携軸に、名松線が加味されているのか確認したい。 ・名松線の存続は、沿線の市町村が行政をあげて取り組んできた経過がある。従来からの取組を念頭に置いて、検討していただきたい。 ・新市の住民全ての人権が尊重されるよう、最も重要な課題として取り組んでいただきたい。
男性	・今回の合併、美杉村として本当に良いのか、納得できない内容である。 ・奨学金貸付事務については、真っ先に削減の方向で確認された。合併により体力をつけるといいながら、このような良い制度を廃止するということで、ますます財政的に弱くなるということを露呈したのではないか。
男性	・ゾーン図を見ると、津市、久居市の都心部中心に特例債が使われるように思える。 ・社会福祉協議会も市町村の合併によって、一つになると聞いている。民間企業の参入が困難な地域の福祉の在り方を検討していく必要がある。 ・美杉村は、水源の村、自然環境に恵まれた村である。山村政策を検討していただきたい。
男性	・合併前に文化センターや庁舎を建設しようとする市町村があり、これらの借金が新市に引き継がれることになる。昨日の新聞にも津市の海上アクセス拠点の整備に関する記事に載っていた。
男性	・美杉村に7ヶ所ある地域住民センターがどうなるのか、こういったものから、協議してほしい。
男性	・美杉村の太郎生地区の分村問題については、10市町村で考えるべきである。
男性	・事務局は、太郎生地区の分村問題を避けているのではないか。美杉村だけの問題ではなく、みんなで考えていく問題である。
男性	・太郎生地区の住民だが、分村問題は太郎生で考えるべき問題なので、他の地区の者はとやかく言わないでいただきたい。

男性	<p>原案の中で、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「サービスの維持が困難」とは、どういった状況を言うのか。 ・「10市町村での行政区域のまとまりが必要」とあるが、今まで仲が悪かったのか。 ・「地域の特性を活かした行政の施策・サービス」とは、どういうことか。 ・「人材や財政の面での自治体能力を強化」とあるが、美杉村にはそういう人材はいなかったのか。 ・「地方交付税制度及び補助金制度の見直し」とあるが、どういう意味か。 ・合併しなければ負担が上がるといわれ署名したが、都市計画税の課税など、合併しても負担が増えるのではないか。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜひとも、県道久居美杉線と国道368号線を、広域連携軸として位置づけてほしい。 ・地域審議会の設置はどのように議論されているのか。設置の方向でお願いしたい。 ・美杉村の支所である「地域住民センター」は、合併時点で残っているということではなく、相当な期間残してもらわないと困る。 ・議員定数については、在任特例を採用して、美杉村の議員全員を新市の議員として残してほしい。 ・町名字名の取り扱いについては、津市美杉町になると村長が言っていたが、そのような方向なのか。 ・住民投票により、自分たちで合併を決めたいという機運が高まっている。その点についてどう考えているのか。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金の廃止は、均衡ある発展のための税の再配分を趣旨とした、地方交付税制度の考え方に反する。 ・「中空アクセス港整備」や「新庁舎建設問題」など、将来の借金を背負うことについてどう考えるか。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・合併しないと美杉村は成り立たないと思う。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・対等合併なら美杉村に合わせるといった調整内容があつてよいのではないか。 ・美杉村は小さな村ではあるが、行政が頑張ってきたおかげで余分な出費を抑え、借金は多くない。津市と合併して住民負担が増えるということは、その地区の行政が悪いということ。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの課題は介護や高齢者問題である。介護施設など切り捨てるのではなく、増やす、または残していく方向で検討してほしい。 ・今後も道路整備を続けてもらえば、若者が美杉村から津市へ通勤することができるようになる。 ・心配は、現在の住民サービスが残してもらえるのかどうかであり、残す方向で検討してほしい

男性	・財政が苦しい中で、合併しか道がないというのは短絡的である。過去、苦しい財政状況の中で、倒れた自治体はない。独自のやり方で生き残ってきた。合併は冷静に判断する必要がある。住民投票で合併を決めたいと考える。
----	--

新市まちづくり計画策定等にかかる住民意見交換会会議録概要

開催日	平成15年9月24日(水)
場所	河芸町役場 1階 防災研修室
町側出席者	町長、収入役、市町村合併調査特別委員会委員長
参加者数	男性 82人 女性 21人
発言者	意見要旨
男性	・合併は、既に決まっていることなのか。住民投票は実施しないのか。
男性	・計画は、良いことばかりが記載されている。我々住民にはメリットばかりで、デメリットはないと感じる。
男性	・中勢バイパスの整備、中空アクセス港の周辺整備など大型公共事業の推進が施策の中心とならないか。 ・任意協議会で実施した住民意識調査では、高齢者福祉や地域医療の充実を望む声が多かったが、新市の施策は、大型公共事業の推進が中心のように感じる。アンケート結果とずれているのではないか。 ・合併の判断材料として、15年～20年の財政シミュレーションを公表していただけないか。
男性	・財政計画を立てずに立派な施策を打ち出しても、本当に実現できるかわからない。絵にかいた餅である。 ・住民福祉に関する施策が削られていくのではないか。この計画では住民のためになる施策を重点的にやってもらえるのかわからない。 ・各市町村の総合計画は、どうなるのか。新市まちづくり計画に、各市町村の総合計画を盛り込んでいくのか。
男性	・住民サービスが切り捨てられないようにしていただきたい。 ・事務事業の調整の中で、「当面の間」という言葉が多く使われていたが、合併後にサービスを見直した結果、住民サービスが低下するようなことは避けてほしい。
男性	・肝心の具体的な施策については、早急に検討していただきたい。 ・河芸町の立派な庁舎や、優秀な職員の頭脳を、合併後、どのように活用していくのか。
男性	・先日の議会で、住民投票条例案が否決されたが、このまま合併に向けて進んでいくということか。
男性	・河芸町長へのお願いだが、合併協定書の調印を行う前に、住民の意思を問うべきである。
男性	・この計画では、河芸町の将来像が見えてこない。 ・幹事会、専門部会等の協議の内容がなぜ開示できないのか。

男性	・事務事業の調整の内容が、協議会で決定されるまでの段階で、住民が把握できるようにしていただきたい。
----	---

新まちづくり計画策定等にかかる住民意見交換会会議録概要

開催日	平成15年9月26日(金)
場所	安濃町サンヒルズ安濃 2階大集会室
町側出席者	町長
参加者数	男性 58人 女性 4人
発言者	意見要旨
男性	<p>通学区域の調整方針について、現在の通学区域は変更せずに弾力的に運用できるようにするとのことであるが、その通学区域は個人が選択することができるのか、学校側が一方的に決めるのか。</p> <p>一方的に決めるようなことはしないでいただきたい。</p>
男性	<p>・本日の説明にはなかったが、新しい市の名前は確認されたとのことであるが、その下の町名についてはどのように調整されているのか。</p> <p>希望としては、現在の町名を残して欲しい。長い歴史の中で培われた伝統を受け継いで欲しいし、新しい土地の名前を考える必要はない。</p> <p>・新市議会の議員選挙について、全市を一つにする選挙区ではなく、旧市町村単位での小選挙区制を敷いて欲しい。そうでないと、小さい町村からは誰も新市の議員が選ばれなくなる懸念がある。</p> <p>・長谷山を中心に、大人も子どもも疲れを癒せるレクリエーションゾーンとして整備して欲しい。</p> <p>この長谷山レクリエーションゾーンで遊んだ後は、榊原温泉を利用していただくというのはどうか。榊原温泉は、関西からの利用客が多いし、美杉村は西の玄関口ともなる。</p> <p>また、中部国際空港が開港し、アクセス拠点が整備されることに伴い、こちら側からは空港を利用して出向く人は多いと思うが、このままではアクセス港を利用して愛知県側から来る人は少ないだろう。</p> <p>こうしたことから長谷山をレジャーランドとして活用しつつ、それでいて貴重な古墳を壊さないように留意しながら整備して欲しい。</p> <p>さらに、長谷山を開発することに伴い、長谷山から掘り出された土で海岸を埋め立てて工業団地を整備することも検討していただきたい。</p>
男性	<p>・新市は、面積約710km²と非常に大きな市となる。それなのに、面積の割に人口はそれほど多くない。こんな都市は全国的にも他にあるのか。</p> <p>果たして、これまでに聴いた説明のとおり、この合併によって行政効率の向上が図れるのか、スケールメリットが見込めるのかという疑問がある。</p> <p>・新設合併と確認されたとのことであるが、実質は吸収合併に近い形ではないのか。安濃町は津市に配慮しなければならないのか。</p> <p>・新市の事務所の位置は、津市役所の位置とすると確認されたとのことであるが、旧安濃町の役場はどのような取扱いになるのか。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・給食施設の整備と学校給食の実施方法については、当分の間現行のとおりとし、合併後3年程度で随時調整するとあるが、新市への白紙委任ではないのか。 各施設の建築年数の経過や衛生管理面の状況を踏まえ、センター方式による施設整備の導入を図ると確認されたとのことであるが、自校方式からセンター方式への導入はサービスの低下につながらないのかと危惧している。 以前聞いた合併の説明では、合併によって「サービスは高く、負担は低く」とのことであったが、この点からも自校方式からセンター方式への導入は非常に疑問である。 ・乳幼児教育に関して、学級開設最低基準は、新市では原則9人とあるがどういう意味なのか、なぜ、9人という数字が出てきたのか。 ・主な事業、主要プロジェクトに関して、合併によって財政規模が大きくなるからといって、これだけ面積も広くなることから投資も限られてくるのではないか。 そうなった時に、例えば、津市の中空アクセス拠点の整備には莫大な投資が必要になると思われる。また、中心市街地の空洞化対策にお金が使われ、そのあとの借金を10市町村の市民が背負わされるというのでは困る。 ・財政計画は、合併協議会が取りまとめるということで理解してよいか。
男性	<p>農林水産業の振興の記述で、「排水路や農道、ため池等の農業基盤の整備を進める」とあるが、安濃町はほぼ整備されており、何処を整備するというのか。</p>
男性	<p>保育園の事務調整はどのようになっているのか。</p>
男性	<p>幼保一元化については、どのように協議されているのか。</p>
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーン図に関連して、美杉村方面へは域内連携軸として位置づけされているが、広域連携軸として位置付けてはどうか、検討していただきたい。 ・新市は、広大な面積になることに伴い、地域医療が重要になってくる。個人の病院やそれを取り巻く地域医療センターを例えば山沿いの地域のどこかに整備するなど安心して医療が受けられるような体制を整えていただきたい。 とりわけ、美杉村の住民は医療関係について特に心配しているのではないのか。 ・合併に伴い、住民の自治、自立が大事になってくる。 高齢社会の到来により、お年寄りなどが歩いて行動できる範囲での交流、地域コミュニティが非常に重要になってくるし、住民自治が大事な役割を果たすことになる。 原案の29ページの地域コミュニティやボランティア、NPO活動の支援はの市民交流の促進の一つの項目ではなく、1項起こして具体的に記述すべきであると考えます。

男性	<p>安芸美の清掃センターについて、地元との操業に関する協定では平成18年までの操業となっている。</p> <p>平成17年1月に新市が発足することに伴い、この協定の取扱いはどうなるのか。新市のほかの清掃センター等で対応可能なのか。</p>
男性	<p>以前に聞いた話では、それぞれの社会福祉協議会が合併によりなくなることだが、福祉バスや巡回バスなども廃止されることになるのか。</p>
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・この計画原案は、総花的であることからもっとメリハリのあるビジョンとしていただきたい。 ・今の津地区合併協議会は、いつまで存続するのか。対等合併ということで、協議がされているとのことであるが、合併の議決をした後のことが心配である。 ・土地利用の方針について、現在三重県が策定中の都市マスタープランとの調整はどのようにされているのか。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・合併議決後も対等に話し合えるような場を設置するよう要望しておきたい。 <p>マジョリティコンセンサスで決められていくことがないよう現段階から設置の検討をしていく必要があると思うので要望しておきたい。</p>

新市まちづくり計画策定等にかかる住民意見交換会会議録概要

開催日	平成15年9月29日(月)
場所	久居市役所 南庁舎3階 会議室
市側出席者	市長、助役、収入役、教育長
参加者数	男性 163人 女性 9人
発言者	意見要旨
男性	<p>・市の名前は、津市と確認されたとのことであるが、町名・字名についてはまだ確認されていないという認識のもと、お聴きするが、是非「久居」という名前を合併後も残していただきたい。</p> <p>久居市以外の町村は、例えば他の市町村は郡を津市に変更するだけで良いが、久居市の場合はそういうわけにはいかないが、我々にとって慣れ親しんだ久居という名前は、町名全部に残していただきたい。</p> <p>・今までの行政サービスが、合併によって低下するのではないかと一番心配している。</p> <p>現在の各市町村の庁舎及び支所の位置づけと役割はどのように協議されているのか。現在の行政サービスが低下しないような施策を検討していただきたい。</p> <p>・新市に負の遺産を残さないようにしてほしい。</p> <p>久居市の場合、ポルタの問題があるが大多数の市民には責任が無い訳で、新市に負債、負担をかけないような決着を執行部にはお願いしておきたい。</p> <p>また、現在、久居市が建設を計画している風体験資料館についてはかなりの費用がかかってくる。</p> <p>赤字になることが予測されるなか、建設を着工するのは赤字の垂れ流しになるのではないか。</p> <p>今のうちに、再度熟慮して、負の遺産を新市民に残さないようお願いしておきたい。</p>

<p>男性</p>	<p>この計画原案は、絵に書いた餅と言わざるを得ない。</p> <p>例えば、久居市の第4次総合計画に記載されている事業が、この計画原案のどの部分に反映されているのか。</p> <p>新市になってから、まちづくり計画の本当の具体的なものが決まってくるものであると思うし、合併協議会でも検討されていることと思うが、この内容では具体的なものが見えてこない。この内容でみなが納得できると思えない。</p> <p>全体の10市町村がみんな良くなって一体となって住みやすい新市にならないといけないのであって、そのことについてよく検討していただきたい。</p> <p>久居市だけが良くなったらいいとは思っていない。市民はこの計画の内容がどのように実施されていくのかどうか見ているのでよく検討していただきたい。</p>
<p>男性</p>	<p>新市全体で調和のとれたまちづくりであるということは理解できる。</p> <p>しかし、総合計画に記載されていないようなものが実施されたものもある。後手後手になるようなことがないよう、また、住民はしっかり見ているのでまちづくり計画に沿った事業が実施されていくことを期待している。</p>
<p>男性</p>	<p>負の財産を新市に引き継ぐことは、是非とも避けていただきたいし、その解消に向けて各市町村が最大限に努力することが当然である。</p> <p>しかし、久居市が計画中の風体験資料館などのように新たに負の遺産が発生するおそれがある事業が合併前に建設されてしまえば、それは新市の市民が引き継ぐことになるので、このことを避けるためにも協議会事務局が各市町村をコントロールしていただきたい。</p>
<p>男性</p>	<p>総体的に考えて今回の合併は問題であると考えている。</p> <p>合併ありきで話が進んでいるが、アメとムチを使ったような国の方針の中で合併して何が残されていくのか。</p> <p>新聞によると特例法で措置される特例債の3割は返済しなければならない。これは借金である。</p> <p>三重県下で現在起こっている状況をいえば、美杉村では住民投票の請求に向けて2000人の署名が集まったと聴いている。久居市では9月議会で住民投票条例が否決された。住民投票を実施した名張市長は、住民投票によって住民の自治意識が高まったと言っている。</p> <p>住民自治権である住民投票を実施して欲しい。</p> <p>また、各市町村は地域福祉計画を策定する必要があると思うが、高齢化の問題もあり今後大きな新市の庁舎で、どういうふうに全体的な計画が出来ると考えているのか。</p> <p>今からでも間に合うので、住民が不安を抱えている状況の中で住民投票の実施を是非望む。</p>

男性	<p>今回の合併は、時代のうねりであり必要である。小異を捨てて大同につくことが必要である。</p> <p>例えば、現在の各市町村の住民一人当たりの行政経費はいくらで、合併後いくらぐらいになるのか、資料があればみなさんに示していただきたい。</p> <p>今後の国の役割、地方自治のあり方を考えた時に、30万都市として、もっと権限をもって住民の身近なサービスを実施すべきである。</p> <p>住民投票については、直接民主主義をとっていないのであって、その代表である議会で決めればよいことである。</p>
男性	<p>津市は、固定資産税に加えて都市計画税を徴収しているが、久居市では都市計画税は徴収していない。</p> <p>合併により新たに税金が上がるというのは市民の負担増につながる。</p> <p>合併に賛成であった人も、合併に後ろ向きになるのではないか。</p> <p>都市計画税の調整方針は、いつ頃示されるのか。</p>
男性	<p>住民投票条例の制定は9月議会で否決されたが、今回の合併問題については、再度住民投票をお願いしたい。</p>
男性	<p>住民の代表である議会で合併するという方向を決め、合併に向けて協議会にも参加している中で、合併反対云々というのはどうか。</p> <p>もし合併反対というのなら、市民の代表である議会で議論したらいいのではないか。合併反対と言うのなら、なぜ、もっと早く言わないのかと思うし、住民は非常に迷うことになる。</p>
男性	<p>合併は決まったわけではない。合併協議会への参加の議決をただけであって、合併そのものを認めたわけではないのであって、合併そのものの議決は今日のスケジュールの説明によると、来年3月の議会ということであり、合併は決まったわけではない、そのことははっきりと申し上げておきたい。</p> <p>名張市の場合、今までの市長は住民の多数は合併に賛成であると考えていたし、市議会の多数の議員も合併に賛成の意向であったとのことである。</p> <p>しかし、新しい市長になって住民投票を実施した結果、予想に反して、7割の住民が合併に反対であるという結果になった。</p> <p>議会は、住民の代表であるというが住民の直接の声と住民の代表である議会の意見とは違うこともあり得る。</p> <p>よって、住民投票の実施を望むという声はあって当然であると思うし、住民投票を実施することで事態が後戻りすることはないのではないか。</p> <p>あらためて、合併は決まったことではないということを上記申し上げておきたい。</p>
男性	<p>全国的に、合併しない町村もある中でそのことを当局はどのように考えるのか。</p> <p>合併すると大変なことになる。</p> <p>名張市長は、住民投票を実施したことによって住民の自治意識が高まった</p>

	<p>と言っている。</p> <p>合併ありきの議論が先行しており、住民不在ではないのか。</p> <p>庁舎が津市になることによって、住民のニーズが届きにくくなる心配がある。久居市が独自で行っているサービスも吸収されてしまう。久居は、久しく居を構えるという意味である。津市になったらどう説明すればよいのか。合併してしまってからでは遅い、今、正に真剣に考えないといけない問題である。</p>
男性	<p>今日の時代において、合併は避けて通れない問題であると思うが、なぜ久居市は一志郡との合併を考えないのか、津市と合併するメリットはあるのか。対等合併といいながら、実質は吸収合併ではないのか。</p> <p>無理の無い合併、慎重に合併を考えていただきたい。今回の合併は、行政主導型の合併である。</p> <p>また、合併にあたって、どういう方法で地域住民の声を聴いていくのか、議会ももう少し地域住民の意見を反映して欲しい。</p>
男性	<p>今日の説明を聴いたが、肝心なところがアウトプットされていない。合併によってこういうメリットがある、しないとかこういうデメリットがあるというものがない。これが具体的に示されればもっともっと良いものになると思う。</p> <p>戦略的なシナリオができていない、そういう風を感じざるを得ない。</p> <p>各市町村議会、合併担当と協議会の事務局は、問題の共有化が図られているのか疑問を感じる。市民にとってみれば、意見交換を聴いているとどの情報が正しいのか迷ってしまう。</p> <p>もっと戦略的に、「いつまでに、ひと、もの、金」に関して、例えば合併前はこういうメリット、デメリットがある、合併するとこういうメリット、デメリットがある、そういう情報を共有化していく必要があると思う。</p>
男性	<p>この計画原案は、良いことばかり記載されており、本当に実施できるのか疑問である。</p> <p>財源のいることばかりが記載してあるではないか。</p> <p>住民投票を実施してほしい。小さくともキラリと光る自治体もある。市民に負担のかからない方法を是非検討していただきたい。</p>
男性	<p>財政計画に関して、財政計画の期間が10年間ということであるが、特例法の支援措置が切れた後の5年、10年が大事ではないのか。</p> <p>また、今後の住民説明会の予定が分かっていたら教えていただきたい。</p>
男性	<p>こうした住民説明会に初めて参加した。</p> <p>合併問題については、住民の声を聞くようにお願いしたい。合併が成功するもしないも住民の声であると思う。</p>

新市まちづくり計画策定等にかかる住民意見交換会会議録概要

開催日	平成15年9月30日(火)
場所	津市役所 8階 大会議室 A
市側出席者	市長、助役、収入役
参加者数	男性 92人 女性 23人
発言者	意見要旨
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・新市のどのようなところを、魅力あるものにしたいとお考えか。 ・10市町村の特徴を活かしたまちづくりを行っていったらどうか。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・計画では夢を描き、目標を設定し、施策を実施していくといったビジョンを示してほしい。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のような意見交換会を、小学校単位や地区単位、あるいはブロック別の単位で開催する予定はあるか。 ・美杉村の太郎生地区の問題は解決したのか。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・新市まちづくり計画は10年間の計画であるが、10年間で必ず事業が実施されるのか不透明な中で、住民が都市計画税を負担しようといった気持ちにはならないのではないか。 ・新市まちづくり計画(原案)には、行政と市民の協働の考え方があまり謳われていない。
女性	<ul style="list-style-type: none"> ・新市まちづくり計画には、「玄関口となりうる地域」と記載されているが、その具体的な施策などがあれば教えてほしい。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・計画には文化面の振興を図るとあるが、10市町村の文化的遺産や、過去に活躍した人物などを捉えて文化振興の一つとして活用してほしい。
女性	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会だよりやホームページではだけでなく、説明会などで合併に対する問題提起ができれば、より活気のある話し合いができると思う。 ・それぞれの市町村の特色を捉えていく必要があると思う。合併PR事業を大切にしていってほしい。今後どのような事業行っていくのか教えてほしい。

新まちづくり計画策定等にかかる住民意見交換会会議録概要

開催日	平成15年10月1日(水)
場所	一志町中央公民館多目的ホール
町側出席者	町長、助役、議長
参加者数	男性 95人 女性 23人
発言者	意見要旨
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・理念、キャチフレーズが抽象的すぎる。「環境と共生……」どう意味か。わかりやすくしてほしい。 ・議員特例をはやめて、即選挙してください。 ・住民に協議会での説明がされていない。協議されたこと、住民の意見を反映したこと、考えていることなど、これからぜひ説明を願いたい。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・議員をしているが、地域でいろいろ論議したことが、協議会において何一つ通っていかない。そのシステム、やり方のことについてはどう考えているのか。 ・住民が不安に思うこと、実施してほしいことが、説明いただいた資料では、抽象的で何も載っていない。 ・合併協議会ができるまでの住民アンケートも活かした上で、計画をつくってほしい。何のためのアンケートだったのか。 ・意見交換会の意見により、直してくれるのか。私たち、町の意見として出していったら、それができるのか、できないのかを聞きたい。 ・情報によると合併の特例が1年延びると、17年が18年になると、聞いている。17年1月は目標であって決定ではないので、多少の猶予を持っていかれるのか、考えを聞かせてほしい。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・行政で働いている職員は、合併しても今の体制のままで、仕事ができるのか。また、人事異動によりどの範囲での通勤となるのか。 ・一志町では、まだ、車が入っていけない地域、橋梁の幅が狭く老朽化しているところがあるが、合併した後、整備を実施してくれるのか。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・この中には具体的な事業がなく、合併しなくても自治体として、やらなくてはならないことが謳われているだけ、総花的で何の具体性もない。 ・一志、白山、久居というビジョン、イメージを考えて作成されているのか。 ・対等合併であっても、津市の言うことを聞かなくてはいけないのか。 ・財政について、各市町村の債務がどれだけあるのか、合併した時と合併しないで単独での場合はどうなるのかとか、町の基金の積み立てをすべて持ち寄るのかなどを聞きたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に一番大事なこと、大切なことを先送りしないで、それらをもっと協議し、十分な説明をしていただきたい。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・一志では自治会が62ありますが、自治会組織がどうなっていくのか伺いたい。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・これだけの資料では、充分わからないし、人も集まらないと思う。 ・一志町の町民が合併に対し、一体どんな要望があるのか、どこで要望をとられたのか。それにより、計画を考えていただいたと思うが、それを知りたい。 ・一志町の福祉事業は他の市町村より、よいサービスをされているが、この福祉の水準を下げないでほしい。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉が合併後どうなっていくのか。 ・このまちづくり計画は、合併ありきでつくられたのか、合併のためにつくられたのか。 ・まちづくり計画は10年と言われましたが、「都計法」は20年でつくられています。こちらの計画は10年でやめておくということか。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・合併すると、人口は四日市と同じぐらいで面積は3.5倍となる。大きな新市の中でも効率的な行政は可能だとしている。このような可能な事例があれば教えてほしい。 ・「中部国際空港アクセス港・・・世界視野に入れた・・・。」とあるがこれは新市の計画の目玉にしか見えない。利用が少ないとの推計もあるし、採算のとれない事業を計画に載せていくのは心配。 ・各市町村でつくられている長期計画を踏まえて、変更されるつもりはないか。 ・財政計画について、特例債は10年後から返済があるのだから、せめて20年ぐらいは出してほしいと思うので、よろしく願いたい。 ・住民の真意を問うため、住民投票をしてほしい。
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の時代には、IT機能がかなり進展してくると思いますので、それに対応する計画をお願いしたい。 ・今の役場を支所とし、出張所を小学校単位でつくっていただきたい。
女性	<ul style="list-style-type: none"> ・中部国際空港アクセス事業、サイエンス事業が目玉であるように思うが、特例債のうち、どれぐらいの割合を占めてくるのか伺いたい。 ・特例債は大きな事業絡みでないと使われないのか、住民の身近なことには使われないと聞いているがどうか。 ・特例債をどこに使うか、各市町村の財源がどれだけあるのかなど、財政等の資料の提示をお願いしたい。 ・夢を語るだけのまちづくり計画でなく、現実はこのように厳しい状況になるという将来のことも表し、住民に説明できる中身のまちづくり計画をしていただきたい。

男性	<ul style="list-style-type: none">・ゾーン図なのですが、各地域によって自分の都合がいいように理解ができるイメージ図になっている。ゾーン図は誤解のないようはっきりわかるようにしてほしい。これについての解説も非常にわかりにくい。・それから、ゾーン区分と基本方向の中で、定性的なところと具体的な部分との差がある、その説明を願いたい。・保養・レクリエーション拠点に、一志町にはとことめの里があるので、入れていただきたい。・連携軸で一志町役場前の久居美杉線は、広域連携軸にはならないのか、その理由付けを説明願いたい。・人口推計で相当の就業人口の割合がありながら、自立的な地域経済の振興の中の工業の振興、産業の振興その記述が、希薄で迫力がない。どうしてか伺いたい。
----	---

新まちづくり計画策定等にかかる住民意見交換会会議録概要

開催日	平成15年10月6日(月)
場所	美里村社会福祉センターホール
村側出席者	総務課長、市町村合併調査特別委員会委員長
参加者数	男性 29人 女性 4人
発言者	意見要旨
男性	<p>まちづくり計画原案のP11に安全で安心して暮らせる都市の実現とある。</p> <p>文章上の聞こえは良いが、本当に安全で安心して暮らせる新市が実現できるのか、美里村における少子化をクリアしていけるのか。</p>
男性	<p>家庭の中では、子どもを育てることの大切さ、高齢者と一緒に暮らすことによる介護などの負担の大変さなどについても話しをしている。</p> <p>農業についても採算がとれないとあって、担い手になるものがない状況であり、農家はそのことも訴えてきている。</p> <p>このような問題を行政がどのようにカバーするのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防、火災についても、安全安心とはいいきれない。 <p>住民の生命にかかわることであり、道路網の整備だけでなく、計画案にもあるが職員能力の向上をお願いしておきたい。</p>
男性	<ul style="list-style-type: none"> ・この計画原案には夢のような理想像が描かれている。 <p>果たして問題点はないのか。新市は面積が広がるが行政サービスが新市全体までいきわたるのか疑問である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この計画原案と美里村の総合計画との整合性、関連はあるのか。 <p>あまりにも理想すぎて新市になって本当に実現できるのかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この計画の中で美里村はどのように位置づけられているのか。 <p>もう少し議論された内容があれば教えていただきたい。</p>
男性	<p>もっと交流の面を考えられないのか。</p> <p>全体のことばかり考えず、山間地と都心部との交流、山間地同士の交流を考えたらいかがか。</p> <p>こういう人々の交流を通じて合併して良かったと実感できるのではないか。</p>
男性	<p>同じグループだけの交流ではなく、違った形や違ったグループの交流、例えば中心部と農村部、中心部の住民と山間部住民との農業を通じた交流なども検討していただきたい。</p>
男性	<p>個人的には、国全体の経済情勢や年金問題、企業の合併もあるなかで改革の必要性を感じており、今回の市町村合併が推進されるのはやむを得ないと考えている。</p> <p>ただ、合併による住民サービスの低下を一番心配している。</p>

	<p>今までは役場に相談に行けば相談にのってくれてきたが、新市になって住民の期待に率直に応えてくれる窓口をどのようにしていただけるのか。</p> <p>中山間地域においても今までと変わらないサービスが受けられるようお願いしたい。</p>
男性	<p>大きくなると行政と住民とのコミュニケーションが不足がちになる。</p> <p>新市においても、コミュニケーションが取れるような方策を検討していただきたい。</p>
男性	<p>合併特例債の用途について、現在の協議状況を教えていただきたい。</p>